

NUMAZU
LIONS
CLUB

LION

march
2026
Newsletter
No.782



追悼特集

L.杉山純哉を偲んで— 志は永遠に —

特集 前期新会員インタビュー

例会報告

CLUB REPORT



沼津ライオンズクラブ
334-C 3R1Z

2026年（令和8年）

3月31日発行〈782号〉

www.numazu-lionsclub.jp

●会長／橋本賢一 ●マーケティング委員長／加藤あきこ ●編集／マーケティング委員会

特集 New Member Interview

7月から12月にかけて新しく入会されたメンバー5名
に対するインタビューを実施しました。
インタビューは加藤明子マーケティング委員長が務
め、入会のきっかけやクラブへの期待、活動に対する
不安などについて率直に語っていただきました。
新会員の皆さんが入会直後に抱いた素直な思いや、
これからの抱負をぜひご覧ください。

Q. お仕事を教えてください。
第一生命保険株式会社 沼津中央営業オフィスで営業部長を務めています。

Q. ライオンズクラブに入会したきっかけは。
これまで地域の団体に参加した経験がなく、沼津ライオンズクラブが初めてでした。新しい挑戦として入会しました。

Q. 入会前と入会後の印象は。
入会前は「経営者の集まり」というイメージがありましたが、実際は皆さん気さくで温かく、壁を感じませんでした。とても居心地の良いクラブだと感じています。

Q. 活動の中で印象に残っていることや、学んだことは何ですか？
アラート委員会での活動です。災害対策や地域課題を学ぶ中で、特に徳田委員長の考え方や行動力に大きな刺激を受けました。そこで実感した災害への備えの大切さを本業でも活かし、地域の皆さまへお伝えしていきたいと思っています。

Q. 会員拡大についてどう考えていますか。
いきなり入会を勧めず、まずは例会やイベントへの参加を促すことが大切です。「堅苦しくなく、人が温かい」という雰囲気を体感してもらうことが、自然な入会へと繋がると思います。

Q. 今後の目標と、最後に一言。
入会して半年ですが、多くの学びと出会いをいただいています。今後は仕事とクラブ活動を切り離すのではなく、地域での経験を本業に活かしながら、自然な形で活動を続けたいです。これからも地域とのつながりを大切に、積極的に参加していきます。

短い在籍期間ではありましたが、例会や同好会などの活動に積極的に参加され、その誠実なお人柄で多くのメンバーから信頼を集められました。転勤に伴い3月末をもってご退会（交代）となりましたが、新天地でのさらなる活躍を心よりお祈りするとともに、いつまでも沼津ライオンズクラブの仲間として応援しています。

L.Kazuma Takayanagi

📍 L.高柳 和真



Q. お仕事を教えてください。
清水銀行沼津支店の支店長を務めています。銀行員として28年目になり、昨年5月に沼津へ赴任しました。

Q. 沼津の印象はいかがですか。
魚が美味しいですね。特に沼津ならではの海の幸や地元グルメを楽しんでいます。

Q. 入会前と入会後の印象は。
A. 当初は異業種交流の場というイメージでしたが、ご縁をいただき入会しました。入ってみると想像以上にアットホームで、会員同士のつながりを大切にしている温かいクラブだと感じています。また、同期入会の加藤大貴さんとは、私がタイ支店にいた頃、加藤さんがタイ工場の立ち上げをされていて、その当時の知り合いです。まさかライオンズクラブで再会するとは思っていなかったのですがとても驚きました（笑）。

Q. 印象に残っている活動はありますか。
学童野球大会です。地域の子どもたちのために熱心に取り組む姿が印象的でした。

Q. 今後やってみたいことはありますか。
献眼活動などの奉仕活動について学び、積極的に参加していきたいです。

Q. 会員拡大についてどう考えていますか。
まずはライオンズクラブを知ってもらうことが大切だと思います。例会やイベントに参加してもらい、雰囲気や会員の人柄を感じてもらうことが入会につながると思います。

Q. プライベートのリフレッシュ方法は。
山歩きや自然の中で過ごす時間が好きです。山歩きやゴルフ同好会などにも積極的に参加してみたいと思っています。

Q. 最後に一言
地域に貢献する活動の大切さを実感しています。これからも多くのことを学びながら、積極的に活動していきたいと思っています。

L.Atsushi Kubota

📍 L.久保田 淳巳



L.Sachiko Aoki

📍 L.青木 幸子



Q. お仕事を教えてください。
沼津市金岡で不二化成工業株式会社を経営しています。主に音響用ヘッドホンのクッションなどの縫製を行っており、アパレル、スポーツウェア、自動車関連など幅広い製品にも対応しています。創業67年の会社で、1年半前にタイ工場から帰国し、代表に就任しました。

Q. ライオンズクラブ入会のきっかけを教えてください。
銀行関係の集まりでのご紹介。元々は人と積極的に関わるタイプではないため迷いもありましたが、地域活動における必要性や、奉仕活動への関心から入会を決めました。

Q. 入会前と入会後の印象は。
最初は少し堅く、おごそかな雰囲気を想像していましたが、実際に参加してみると、皆さんとても気さくで話やすく、思っていたよりも入りやすい雰囲気でした。

Q. 半年間の活動状況はいかがですか。
現在はタイと日本を行き来する生活のため、参加できる機会は限られていますが、これまでに数回参加しました。その中でも地域活動や交流を通じて多くの学びがあり、「入って良かった」と感じています。

Q. 奉仕活動についてどのように考えていますか。
沼津の街には、障害を持つ方にとって不便な部分もあると感じています。バリアフリーや生活環境の改善など、地域課題への取り組みに関心を寄せており、誰もが暮らしやすい街づくりに向けた活動にも関わっていきたくと考えています。

Q. 仕事とプライベートのリフレッシュ方法を教えてください。
一番のリフレッシュは子どもと過ごす時間です。また、ゴルフや山登り、バイクなども趣味で、仕事と家庭のバランスを取りながら過ごしています。

Q. 今後について教えてください。
仕事と両立しながら、無理のない範囲でクラブ活動に関わっていきたくと思っています。まずは実際に参加し、雰囲気を感じてもらうことが大切だと考えています。

L.Akifumi Ichiba

📍 L.一場 章文



Q. お仕事を教えてください。
栄光エンジニアリング株式会社の代表として、ホテルや老人ホームなどの大型建築を中心に、空調・給排水設備全般の図面作成から施工管理までを手がけています。

Q. 入会したきっかけは。
金子さんからの紹介です。現場での関わりもあったことから、かなり熱心にお声がけいただきました。

Q. 入会前と入会後の印象は。
歴史と伝統のある「少し堅い会」というイメージがあり、最初は緊張感もありました。しかし、実際は皆さんとても気さくで、ゴルフなどを通じて今では楽しく交流させてもらっています。

Q. 印象に残っている活動はありますか。
例会やゴルフなどを通じて、会員の皆さんと交流する機会が増えていきます。まだすべてを理解できていくわけではありませんが、少しずつクラブの雰囲気に馴染んでいきます。

Q. 今後やってみたい活動はありますか。
建設業の経験を活かして、子どもたちが体験できる「ものづくりブース」のような取り組みができれば面白いと思っています。仕事の魅力を知ってもらえるきっかけをつくりたい。

Q. リフレッシュ方法を教えてください。
ゴルフや登山など、体を動かすことがリフレッシュになっています。

Q. ライオンズ活動を通じて感じていることは。
自分の仕事を手伝ってくれるような仲間が増えた感覚があります。人とのつながりが広がり、仕事にも良い影響が出ています。今後は、信頼できる仲間として周囲にも紹介していけるような関係を築いていきたいと思っています。

Introduction

L.Motoki Kato

📍 L.加藤 大貴



アクティビティ例会など
奉仕作業を実施

1-3月 例会報告

1月から3月は会員向けセミナー的な例会が多く
アクティビティ例会としては環境保全委員会が企画する香貴山香陵台に御影石製の特注ベンチを設置・寄贈する除幕式が開催。例会の様子をご覧ください。

新年例会

1月第1例会

1月8日(木)、沼津リバーサイドホテルにて1月第1例会(新年例会)を開催しました。当日は新年にふさわしく、会長が着物姿で登壇し、国歌およびライオンズソング斉唱、会長挨拶が行われ会場は晴れやかで和やかな雰囲気に包まれました。続いて、古希・喜寿・年男等のお祝い披露が行われ、節目を迎えられた皆さまを会員一同でお祝いしました。その後、上半期決算および監査報告が行われ、今期後半に向けた活動への認識を新たにしました。懇親会では、鏡開きと乾杯により新年を祝い、中国山西省出身の劉普陽(リュウ・シンヨウ)氏による二胡演奏が披露され、穏やかな音色とともに親睦を深めるひとときとなりました。本年も地域社会への奉仕活動を大切にしながら、会員一丸となって取り組んでまいります。

通常例会(会員拡大委員会)

2月第1例会

2月5日(木)、沼津リバーサイドホテルにて、2月第1例会が開催されました。LCIF献金等の各表彰が行われた後、医療法人あいけい会理事会・眼科専門医の大高功先生による講演が行われました。大高先生はTVで『日本国内のスーパードクター』として取り上げられたこともある眼科の名医であり、横浜の病院では先進医療西伊豆の病院では僻地医療という異なる二つの医療を一人で担っている方です。僻地医療を始めたきっかけは、『医療不足により困ってる人のために医療をしたい。患者のための医療とは何かを考えた結果が西伊豆の病院。』とのことで、僻地医療は大変やりがいがあると述べられていたのがとても印象的でした。また、『静岡アイバンクに対する沼津ライオンズの貢献はよく知っており、大変感謝している。IPS細胞から角膜が作られるようになったようだがアイバンクの必要性はこれからも変わらないだろう。』との言葉も頂き、沼津ライオンズの一員として大変勇気づけられました。沼津ライオンズがこれまで取り組んできた献眼活動の重要性を再認識し、今後の視力福祉活動の励みにもなる素晴らしい例会となりました。



1 ご講演をいただいた大高先生。沼津LCの活動を高く評価。2 MJF献金の盾を手にする橋本会長・常峰YCE委員長 3 例会担当の藤川拡大委員長

三島ライオンズクラブ合同例会

1月第2例会

1月20日(火)、みしまプラザホテルにて、1月第2例会(三島ライオンズクラブ合同例会)が開催されました。沼津LCがスポンサーを務め、62年の歴史を誇る三島LCとの例会交流は、一昨年12月のクリスマス例会以来4度目の開催となります。今回は三島LC主管のもと執り行われ、メンバーズスピーチでは、沼津LCよりL徳田、L長橋が登壇し、「ためになる話」をテーマに、クラブ活動における楽しみ方や心掛けのヒントに加え、家族旅行でインドを訪れた際のエピソードや現地で感じた印象などを、ユーモアを交えながら発表し、例会に花を添えていただきました。また、クラブによって例会の進め方にも個性があり、年度方針やアクティビティ実績などを伺うことで、今後のクラブ運営において多くの気づきを得る貴重な機会となりました。その後の懇親会では、いつもと異なる雰囲気のなか、各テーブルで三島LCメンバーとの積極的な交流が図られました。互いに地域で必要とされる奉仕団体として、さらなる高みを目指すうえで大きな刺激をいただく、実り多い合同例会となりました。



1 沼津LC土井・三島LC岡田両第1副会長によるご挨拶で次年度の盛会を誓いあいました。2 橋本会長によるご挨拶。3 L徳田によるメンバーズスピーチはライオンズクラブ愛に溢れた、メンバーとしての心得や心掛けなど、ユーモアを交えたスピーチで会場を大いに盛り上げてくれました。

通常例会(TT/LT)

2月第2例会

2月19日(木)、第2例会が開催されました。テール・ツイスター、ライオン・テマ共同担当による例会は久しぶりの「私房菜 香香」での開催。今年度体制も帰港先が見え始め、穏やかな雰囲気の中、開会ゴングが打ち鳴らされました。今回は、グループ分けしたテーブル対抗の「ライオンズクイズ」を実施。メンバー同士の知識と交流を深める企画として、問題ごとにベテラン・若手が真剣勝負を繰り広げました。見事優勝はL赤堀率いるチーム。景品の食事券を獲得しました。趣向を凝らした問題に正解率も高く接戦となり、プレーオフは3チーム代表によるじゃんけん勝負へ。L土屋が会長チームを準優勝に導き、L大川チームが3位となりました。景品の「まちこ」「心美」「香香」各店の食事券を手にし、会場は大いに盛り上がりしました。当日は41名が参加。沼津ライオンズクラブの結束力、互いを尊重し合い、自然と場を和ませる気遣いを改めて実感できる、楽しく有意義な例会となりました。L榊原(テール・ツイスター)、L伊東(ライオン・テマ)をはじめ担当メンバーの皆さま、本当にありがとうございました。



1 3月第1例会の企画を報告するL.杉山純哉 2 ライオンズクイズの司会進行で会場を盛り上げるL.小笹 3 例会担当のL.榊原。大変お疲れ様でした!



1 除幕式を終え、沼津の素晴らしい景観と頼重市長を囲む沼津LCメンバー
2 白御影製の特注ベンチを紹介する頼重秀一市長 3 今回の企画から設置に関する打合せ、施工まで遂行された故・杉山純哉 委員長・川口幹事・橋本会長

アクティビティ例会(環境保全委員会)

3月第1例会

3月7日(土)、環境保全委員会によるアクティビティ例会が開催され、香貫山香陵台にてベンチの贈呈式を行いました。式典には頼重市長にお越しいただき、橋本会長とともに除幕を行っていただきました。橋本会長は挨拶の中で、昨年度の案内看板に続き、今年度は御影石のベンチを寄贈したことに触れ、慰霊塔の五重塔や若山牧水の歌碑があるこの場所で、多くの方に休憩の場として活用してほしいと述べ、市への感謝も伝えられました。頼重市長からは、香貫山は沼津アルプスの一つとして多くの方に親しまれている山であり、今回寄贈されたベンチが、眺望を楽しみながら休憩できる憩いの場として多くのハイカーに親しまれることへの期待が述べられました。また当日早朝には、有志により山頂までのルートにある案内看板などの清掃活動も行いました。昨年同様、例会場である沼津総合体育館まで清掃をしながら移動し武道場をお借りして例会を開催。指名委員長より次年度の役員人事が発表され、土井会長予定者をはじめ役員予定者の皆さんが承認されました。今回寄贈されたベンチが、香貫山を訪れる多くの方々に親しまれ、末永く愛される憩いの場となることを願うとともに、今後も地域に根ざした奉仕活動を続けてまいります。

通常例会(財務会則委員会)

3月第2例会

3月19日(木)、私房菜 香香にて3月第2例会を開催！今年度の会員拡大ラストスパートに向け、新たに2名の入会という嬉しい報告とともに、引き続き会員拡大への協力要請が行われました。今回の例会は「将来に向けた資産形成の重要性」をテーマに、財務会則委員会が担当。長期投資・分散投資・相続税などについて、その道のプロである当クラブメンバー(L萩原・L久保田・L青木)によるセミナーが開催されました。デフレからインフレへと時代が移行するなか、お金の価値を守る資産形成の重要性が高まっています。本講話を通じて理解を深め、将来に向けた意識を高める有意義な例会となりました。なお、講師を務めていただいたL久保田は、本例会をもって転勤に伴い退会(交代)となりました。入会から半年という短い期間ではありましたが、例会への積極的な参加、アラート委員としての活躍、さらにはゴルフ同好会への参加など、非常に密度の濃い活動を展開されました。常にクラブ活動を楽しむその姿勢は、多くのメンバーから信頼を集める存在となり、惜しまれながらの門出となりました。例会後の懇親会では、転勤先でのさらなるご活躍を願い、温かなエールが贈られ、名残り尽きぬハートフルなひとときとなりました。久保田さん、本当にありがとうございました！



1 例会担当の小澤財務会則委員長と今回講師を務めたメンバーによるライオンズローア 2 セミナー講師を務めたL久保田 敦巳 惜しくも転勤による退会で今回が最後の例会となりました。 3 同じく講師を務めたL青木 幸子

沼津香陵LC

50th Charter Night Celebration

《沼津香陵ライオンズクラブCN50周年記念式典!!》
3月1日(日)、沼津香陵ライオンズクラブのCN50周年の記念式典が市内のウエディングファンタジアで開催され、三役で参加して来ました。記念式典には、頼重秀一沼津市長や杉山節雄 334-C地区ガバナー、更にチャーターメンバーのL杉山茂夫と清谷前会長のお父様の清谷淳様もお元気に出席されており、大変和やかに進行されていました。50周年を記念した事業報告では、12月に開催された記念講演会の他、日本盲導犬協会など地域の多くの団体に寄付もされ、沼津香陵ライオンズクラブさんの熱い奉仕の御心も感じ取ることが出来ました。更に祝賀会に先立って、全盲でありながらピアノの演奏やソロによる歌唱でご活躍されている、大石亜矢子さんのミニコンサートも開催され、素晴らしい記念式典を堪能させていただきました。



沼津駿河LC

40th Charter Night Celebration

《沼津駿河ライオンズクラブ認証40周年記念式典!!》
3月5日(木)、沼津駿河ライオンズクラブの認証40周年記念式典が、沼津リバーサイドホテルにおいて開催され、当クラブから会長、幹事で出席してまいりました。記念式典には、頼重秀一沼津市長、杉山節雄334-C地区ガバナーをはじめ、多くの来賓や県内のライオンズメンバーが出席され、終始和やかな雰囲気の中、厳かに執り行われました。式典では、40周年の記念事業として、沼津市社会福祉協議会と静岡県立沼津聴覚特別支援学校への寄付の贈呈も披露され、沼津駿河ライオンズクラブさんが長年にわたり地域社会に貢献されてきた奉仕の歩みを拝聴する機会となりました。沼津駿河ライオンズクラブの40年にわたる奉仕の歩みに敬意を表するとともに、このような節目の式典に参加させていただき、深く感謝申し上げます。



沼津中央LC

50th Charter Night Celebration

《沼津中央ライオンズクラブCN50周年記念式典!!》
3月29日(日)、沼津中央ライオンズクラブCN50周年記念式典が沼津リバーサイドホテルにおいて開催され、沼津ライオンズクラブから三役を含め5名で出席して参りました。当日は、頼重秀一沼津市長、奥村篤沼津市教育長をはじめ、近隣ライオンズクラブのメンバーなど、多くの来賓・関係者が出席され、盛大な式典となりました。式典では、40年目を迎える継続事業である奨学生制度として9名の高校生への認証や、市内中学校18校へ図書の贈呈が行われました。また燦々ぬまづ大使である小野伸二氏による記念講演では、これまでの取り組みである沼津中央ライオンズカップの紹介を通じて、クラブへの感謝とスポーツを通じた教育への想いが広く発信されました。また、祝宴においては、飛龍高校和太鼓部による迫力ある飛龍太鼓の演奏や、沼津出身で17歳のシンガーソングライター心愛(KOKONA)さんによる演奏が披露され、青少年健全育成に力を注いでこられたクラブらしい、若い世代の力強さと可能性を感じさせる内容となりました。

CLUB REPORT

2025-2026 年度 クラブスローガン

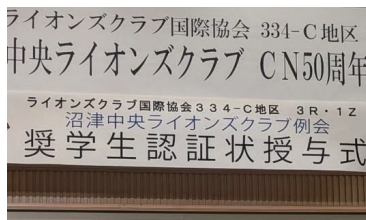
Let's enjoy "We Serve"

昨年度沼津ライオンズクラブはCN65周年となる年度を終え、数々の記念事業とご来賓を招いた記念式典が執り行われました。今年度は沼津の4クラブ及びスポンサーを務めた御殿場LCの5クラブが周年を迎え、出席させていただきましたのでご紹介します。

御殿場LC

65th Charter Night Celebration

《御殿場ライオンズクラブCN65周年記念式典!!》
3月28日(土)、御殿場ライオンズクラブさんのCN65周年記念式典が、名鉄菜館において開催され、スポンサークラブである当クラブは、橋本会長をはじめとする三役で出席してまいりました。当日は、御殿場市長をはじめ、御殿場の諸団体や、姉妹クラブである金沢の小松ライオンズクラブ、近隣クラブのメンバーなど、多くの来賓・関係者が一堂に会し、総勢120名を超える盛大な式典となりました。式典では、CN65周年記念事業として、御殿場市に「第6代移動図書館車(ライオンズ号)」の寄贈が披露されました。初代ライオンズ号の運用開始から、55年の永きにわたった御殿場市民に親しまれた活動に対し、深い敬服を抱きました。御殿場ライオンズクラブの65周年という大きな節目に立ち会えたことに感謝申し上げるとともに、今後ますますのご発展と、地域社会へのさらなる貢献を心より祈念いたします。



5LCアクト

ライオンズ文庫 贈呈式

2026年1月26日、沼津市役所に橋本会長を始めとする沼津5LCの会長が集い、沼津市内小学校23校に対する本の贈呈式が行われました。目録及び感謝状贈呈が行われた後、意見交換会が実施され、橋本会長からは、『本が子供の成長に欠かすことができないものであり、本をめくるという動作自体に、記憶に残る、心を落ちつかせるといった良い効果がある。ライオンズ文庫が子供達のお役に立てれば』とお話があり、沼津市長や教育長からは、『子供達の読書離れが進んでいるが、本は時代を生き抜く大きな力を育み、地域全体の教育向上に寄与するものなので、子供達が本に触れる機会をできる限り増やし、本の重要性を発信していきたい。』との言葉を頂きました。約30分の会合でしたが、本の贈呈を通じ、沼津5LCが子供達及び地域に果たしている役割の重要性を再認識する有意義な会合となりました。



ゴルフ同好会

沼津LC定例杯 毎月第3日曜日開催

1月18日、沼津ゴルフクラブにて1月定例杯を開催後、沼津ココチホテル2F「フレンチラパンアジール」にて、同好会メンバー22名による新年会を行いました。ゴルフ部部長・L金子の進行、橋本会長の乾杯で賑やかにスタート。当日5組17名で競われた定例杯の成績発表では各賞が発表され、会友の森OBが49-41 (HCP27 / NET63) の好成績で見事優勝を飾りました。季節の食材を活かした美味しい料理とお酒で大いに盛り上がる中、参加者全員から今年のゴルフ目標などが発表され、また、毎年恒例の遠征旅行については、リーダーに就任したL芦澤より、5月30日(土)から2泊3日で宮崎開催となることが伝えられました。沼津ライオンズクラブには、ゴルフ・山歩き・バイク部の3つの同好会があり、趣味を通じたメンバー交流が盛んに行われています。年齢や役職に関係なく、互いを尊重し合える仲間と過ごす時間は、毎回とても楽しく特別なものです。奉仕活動とあわせて、会員相互の交流も大切にする沼津ライオンズクラブ。新年会の最後にはサプライズでL大川の誕生日をお祝い♪笑いの絶えない宴は、L後藤の一本締めでお開きとなりました。



334複合地区

次世代リーダー研修会

2026年2月17～18日に334複合地区 次世代リーダー研究会に参加しました。ライオンズクラブは全国に2,700以上のクラブがあり、8つの複合地区に分かれています。沼津ライオンズクラブは、複合334-C地区(A:愛知/B:岐阜・三重/C:静岡/D:富山・石川・福井/E:長野)に所属しています。今回の研修には、複合334の各地区から選出された24名が名古屋に集まり、沼津ライオンズクラブからは三須 第2副会長が参加し、2日間のカリキュラムを受講。初日の導入後には、5名ずつに分かれたワークショップを実施。LCIF交付金を活用した具体的な事業提案を短時間でまとめ、発表するという、経験と知識を求められる高度なセッションに取り組みました。チーム力を高めるとともに、各分野のコーディネーターからのフィードバックを通じて、多くのヒントと学びを得ることができました。また、受講後の懇親会では、美味しい食事を囲みながら貴重な情報交換ができ、有意義な時間となりました。2日目は、「会員増強」「SWOT分析」「LCIF」「女性会員の増強」「エクステンション」「コミュニケーションスキル」などを、ワークを交えながら学習。発表を通じて、各クラブが抱える課題についても、受講者同士からさまざまな事例やアドバイスが共有され、終始活発で充実した2日間となりました。



2026年1月11日、第16回目の山歩き同好会で鎌倉の天園ハイキングコースを歩きました。円覚寺からスタートし、建長寺、半蔵坊を経て大平山へ向かう山道では、木々に囲まれた静かな自然の中で、鎌倉らしい景色を存分に楽しむことができました。その後は瑞泉寺や鎌倉宮を巡り、歴史の重みを感じながら歩みを進め、最後は鶴岡八幡宮で初詣させて頂きました。昼食に入った海鮮食堂では、金目などの美味しい料理を味わいながら会話も弾み、また観光客で賑わう小町通商店街を散策したり、通勤ラッシュ並みの江ノ電に乗り込み、藤沢まで車窓からの景観を楽しむなど、心もお腹も満たされる充実した一日となりました。

アラート

静岡県地震防災センター研修ツアー開催

2026年3月12日(木)アラート委員会主催による研修ツアーが開催され、沼津ライオンズクラブのメンバー15名が参加しました。まずは研修前の腹ごしらえ。静岡市丸子にある、大正8年創業の老舗「待月楼(たいげつろう)」さんへ。天然物のじねんじょを使ったとろろ汁が評判のお店で、駿府匠宿の奥に佇む歴史ある建物の雰囲気圧迫されながら、一品ずつ提供される丁寧な懐石料理を堪能しました。メのとろろは、まさに絶品。心もお腹も満たされました。その後「静岡県地震防災センター」へ移動。震度7の揺れを体感できる起震装置や実験模型など、体験型の展示を通じて地震防災を学びました。さらに、台風などの豪雨による河川災害や土砂災害、火山噴火などの災害についても、映像やプロジェクションマッピングによる解説を受け、最後には約30分の講義も受講。あっという間の約2時間半でしたが、参加したメンバーそれぞれが災害への意識を高め、「自助」による備えの大切さを改めて学ぶ貴重な機会となりました。



バイク同好会

不定期開催

2026年3月8日、バイク同好会8名で静波海岸方面にツーリングに行ってきました。当日は天気は快晴でしたが、やはりバイクで走っていると風が身にしみて、寒かったです。まずは榛原郡吉田町の「鰻 八木秀」に行きオープン前から行列に並んでいました。待っている間に隣にあった小山城に探索に行きました。とても美味しい鰻を食べ、その後静波海岸まで、お台場より大きな?自由の女神を見に行き、帰りには焼津さかなセンターで、夕飯のつまみを買って来ました。今回のツーリングは車チーム4人とバイクチーム4台で楽しいひと時を過ごすことができ、改めて沼津の地の利の良さを感じることができました。

